

ごみ減量化に向けたワークショップ かわら版（開催結果報告）鵜飼中央・滝沢パークタウン・上の山・上鵜飼自治会

平成29年7月21日（金）18:30～



滝沢市では、ごみの処理に関する環境及び資源の問題、ごみの処理に係る費用の問題など、今後「ごみの減量」が必ずや必要となり、市民一丸となって取り組むべきテーマと考え、各地域の皆さんにご協力を頂きワークショップ（意見交換会）を開催しました。

今回のワークショップは、ごみの減量について、色々なアイデアを出していただきながら、皆様で楽しく意見交換していただく場所・機会として、白熱した意見交換が交わされました。

A班

お互いのアイデアを披露しています

庭木の枝の始末、もう少し何とかならないか

買い物のときは冷蔵庫の中を見ていくこと！

不要なものを買わない、修理して使用

- 資源ごみ回収の推進を市として啓蒙する
- ごみの分別方法の検討（リサイクルできるものを有効に）
- 買い物をするときはマイバッグやマイ容器を持参し、過なごみを自宅に持ち込まない
- 食品の無駄をなくすために、消費期限前のものを回収できるシステムを作る
- ごみのコンポスト化の推進
- 捨てる時代からの脱却を小学校等からの教育で教える長期的な施策
- 不要なものを買わない、修理して使用
- 捨てる前に再利用を！！リサイクルショップの有効活用
- 夏場は果物が多くごみが多く出るので圧縮袋みたいなもの考えたほうが良い
- 包装紙、箱等の過重包装をやめるよう運動をする

B班

グループ発表の準備中

リユース、リサイクル、リデュース、リメイク！

無駄買いをしない！

すぐ捨てるものはもらわない！

- リサイクルできない紙パックはビン・缶を使用してほしい
- 食べ物を残さない
- 買い物袋を持参する
- 庭木などは裁断、乾燥をしてごみに出さない
- ごみの分別を徹底し、リサイクル可能なものを資源回収し焼却を減らす
- 段ボールを子供会へ出す
- 3R（リユース、リデュース、リサイクル）をする
- パックの商品の購入を抑える
- 紫波町や矢巾町などごみ減量化先進地について、もっと学ぶ機会を増やす
- ペットボトルをスーパーへ出す
- できれば各家庭でコンポストなどを用意し、生ごみを減らす
- タッパーや入れ物など洗って店に返す、再利用を！

C班

実現性と効果を軸に分類中

今あるものを大事に使う！

衣類の再利用をできるような施設を作り、住民が利用しやすくする

詰替え商品を使う！

- 洋服等衣類の再利用をできるような施設を作り、住民が利用しやすくする
- 地域でのリサイクル
- ごみの分別ルールを守る
- 紙類は細かな分類で再処理するように協力し合う
- 生ごみの堆肥化、乾燥化
- 食べれる量だけ皿に盛り、残食をなくす
- 包装紙はできるだけ使わないように（お中元、お歳暮など）
- エコバックを携帯し、レジ袋をもらわない
- 洗剤や化粧品などは中身を詰め替えできる商品を買う
- 今あるものを大事に使う
- 生ごみはコンポスト等で自家処理を進める
- 必要ないものはもらわない、買わない、必要としている人へ譲る
- 着なくなったものは、フリーマーケットなどに出す

※上記は、提案された意見を基本的に原文記載としておりますが、同内容意見は、抜粋・組み合わせなどしております。



A班の発表です



B班が発表しました



C班が発表しています



発表に集中して耳を傾けています

お忙しい中「ワークショップ」へご参加頂きました皆さま、大変有難うございました。色々な意見、沢山のアイデアが出されました。今後、市民皆さまと、市役所の「協働」の大きなテーマになる「家庭ごみ減量化」にとって、推進への指針となる「ひとつひとつ」と考えております。今後とも、宜しくお願いいたします。

滝沢市役所
市民環境部 環境課